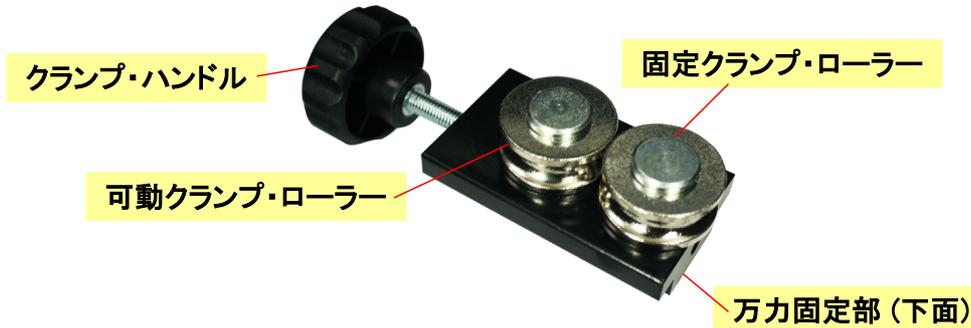


5604-0241 簡易パターシャフトベンディング器

取扱説明書

ベンドシャフトの簡易調整に！

小さな本体ながら、スチール・ベンド・シャフトの曲がり調整することで、パターのロフト、ライを迅速且つ容易に調整することが可能です。計測機構は備えていませんので、パター使用者にパッティングをしてもらいながら調整するケース等に向いています。計測が必要な場合は、ヘッドスペック測定器(5901-0006)を用いて、別途、計測して頂くか、パタークラブ ベンディングマシン(5604-0121)をご検討下さい。



セット内容:
本体
取扱説明書

作業に必要なもの:
万力
マスキングテープ

【注意事項】—ご使用前に必ずお読み下さい—

- 本品の固定に使用する万力は自重3kg以上で、しっかりと作業台に固定されているものをお使い下さい。万力や作業台が軽量で動きやすいもの場合、調整は困難になります。
- 作業は、万一の事故防止のため、防護手袋等で身体を保護した上で行って下さい。
- 調整は、シャフト表面の性状を確認しつつ、少しずつ力を加えて行って下さい。
- 傷付き防止のため、クランプ・ローラーに接触する箇所をマスキングテープ等で被覆して下さい。
- 調整幅が大きくなると特に、シャフト表面に凹みや皺、表面のメッキにヒビ割れや浮きが発生する場合があります。
- シャフトの太さによっては、2つのクランプ・ローラーを近付けすぎると、凹ませてしまう場合がありますので、ご注意下さい。
- シャフトの素材、肉厚等によって、曲げられないものがあります。ご不明の場合は、メーカー等に調整可能か、ご確認下さい。

【設置 & 使用方法】

- (1) 本品下面を万力でしっかりと掴み、固定して下さい。
- (2) クランプ・ハンドルを緩めて、可動クランプ・ローラーを固定クランプ・ローラーから離します。
- (3) シャフトの曲げたい箇所に、クランプ・ローラーを支点にして力を加えられるよう、クランプ・ハンドルを操作して可動クランプ・ローラーの位置を調整し、クランプします。傷付きを防ぎたい場合は、シャフトのローラーに接する箇所にマスキング・テープ等で被覆を施して下さい。

※例として、図1のように、シャフトのベンド箇所が2箇所の場合、2つのクランプ・ローラーそれぞれを支点にすると、より力が分散し、曲げやすく、またシャフトを傷めにくくなります。

※1点で曲げ調整を行う場合は、さらにクランプ・ハンドルを締付けて可動クランプ・ローラーと固定クランプ・ローラーを近接させてご使用下さい。シャフトの太さによっては、締付けすぎるとシャフトを傷めますので、ご注意下さい。

- (5) 調整する際は、必ず図1中の“調整方向”の矢印のように、クランプ・ローラーの回転面に対して水平方向に力を加えて下さい。それ以外の方向に力を加えますと、シャフトが凹みやすくなります。このため、ロフト方向とライ方向、双方を調整する場合は、一方を調整し終わったら、方向を変えてクランプし直す必要があります。また、調整時は、力を少しずつ加え、一回に強い力を加えないようにして下さい。少し調整したら、結果を確認し、調整が不足していたら、再度調整する、と言う手順を繰り返します。
- (6) 調整が完了したら、被覆を剥がし、シャフト表面を清掃して作業は完了です。

